
日本ブレン 日本国内の医療機関へ新型コロナウイルス感染症 CT 画像分析の 臨床研究向けクラウドシステムを無償提供

日本ブレンはアリババが提供する技術を活用し医療機関向けにクラウドシステムを開発。
山梨大学先端応用医学講座のアドバイスのもと臨床研究に必要な環境構築と臨床研究計画等を準備中。

2020 年 3 月 27 日 日本発

国内で臨床研究や治験向けのクラウドシステムを提供する株式会社日本ブレン（東京都豊島区東池袋、代表取締役 宮内 剛之、以下「日本ブレン」）は、CT 画像を用いた新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」）の分析を行う臨床研究向けのクラウドシステム（以下「本システム」）を開発しました。

本システムで使われているアルゴリズムは、アリババクラウド及びアリババグループの研究開発機関である DAMO アカデミーより共同で提供されているもので、CT 画像を用いた COVID-19 の分析を行い、医師による人的判断に補助情報を提供するデータ分析サービスです。本サービスは、アリババクラウドの日本国内のクラウド環境から提供されます。また、日本ブレンと医薬分野において学術指導契約を結ぶ山梨大学先端応用医学講座のアドバイスのもと、研究利用環境の準備と臨床研究計画等を策定中です。

臨床研究を希望する病院やクリニックは、当システムを通して、COVID-19 に感染した疑いのある患者の CT スキャン画像をアップロードし、分析結果を取得できます。本システムの利用に当たっては、CT 装置を使用可能な医療機関に限定し、プライバシー保護のため事前に匿名化した上で分析を行います。

本システムでは、日本ブレンと共同で医療サービスを提供する株式会社シンプリスト（神奈川県横浜市港北区、代表取締役 CEO：山内英嗣）が保有する医療プラットフォームを有効活用することで、日本ブレンは COVID-19 の流行期間中、COVID-19 の臨床研究を行う公共機関・医療機関に対して、本システムを無償提供することを可能にしています。

本システムはアリババクラウドを含む、様々な企業の技術によって支えられています。アリババ傘下の先端技術研究開発機関である DAMO アカデミー（中国語「達磨院」）、アリババのヘルスケア・プラットフォームであるアリババヘルスも、本プログラムをはじめとする医療関連の技術情報を提供しています。

<株式会社日本ブレン 代表取締役 宮内 剛之は次のように述べています>

「当社は約 10 年にわたり、臨床試験に関わるシステム開発に携わって参りましたが、今までの経験を活かし、当社の取り組みが今後の COVID-19 の感染症診断や肺炎における鑑別診断に活用されること、日々身を粉にして対応に当たられている現場の医療関係者の皆様、調査・研究されている医療機関やアカデミアの皆様に感謝申し上げるとともに、それらの皆様の研究環境に微力ながら貢献できることを切に願います。」

<株式会社シンプリスト 代表取締役 山内 英嗣は次のように述べています>

「当社はアジア地域を中心に越境型の遠隔医療システムの開発とメディカルツアー用システムの開発に携わって参りました。当社の医療プラットフォーム「magic」が COVID-19 の拡大抑制の一助として有効活用されるように微力ながら支援していきたいと考えております。」

<アリババクラウド・ジャパンサービス株式会社 カントリーマネージャー ユニーク・ソン(Unique Song)は、次のように述べています>

「当社はこれまで日本のテクノロジー・パートナーや現地の病院とともに、当社のクラウドコンピューティングとデータ・インテリジェンス・テクノロジーを通じて、COVID-19 感染症対策を支援してきました。今回、DAMO アカデミーとアリババヘルスのテクノロジーおよびヘルスケアの経験を通じて、日本のコミュニティを継続的にサポートし、その支援に注力したいと考えています。」

本システムのご利用ならびにお申し込みに関しましては、下記までお問い合わせください。

株式会社日本ブレーン(東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60ビル 56 階)

ソリューション企画本部 臨床研究システム担当 小野寺、中村

HP: www.jbc.co.jp

TEL: 03-3984-7511(代表) E-mail: solution_eigy@jbc.co.jp

【日本ブレーンについて】

当社は 1985 年の創業以来、多くのお客様やビジネスパートナーの皆様に支えながら着実に成長を遂げてまいりました。今後の IT 時代におけるコアコンピタンスの追求や、当社にしかできない得意分野を追求しビジネスの拡大につなげてゆき、お客様に満足していただけるソリューションビジネスを展開してまいります。銀行向けシステムを中心に進めている金融システムと、臨床試験向けモバイル問診収集システムを中心に進めている医薬系システムの2つを柱に据え、海外においてもアジアを中心に 5 カ国で事業を展開しています。

株式会社日本ブレーンは、これからも確実・着実をモットーに、さらにお客様に満足していただけるような会社を目指し社員一同取り組んでまいります。

【シンプリストについて】

当社は「医療の届かないところに、医療を届ける」をミッションとして 2018 年に設立されました。当社の越境型遠隔医療システム「magic (Medical Assist by Global Infrastructure of Communication)」はアジア諸国のインターネット環境が整わない地域でも、円滑にオンライン診察ができる独自技術を有し、これにより医療環境が整わない地方の集落でも医師からオンライン診察を受けることを可能としています。今後日本ブレーン社の金融、医療システムと統合を図りより多くの「医療の届かないところ」に医療を届けて行けるように邁進して参ります。

【アリババクラウドについて】

2009 年に設立されたアリババクラウドは (www.alibabacloud.com)、アリババグループのデータ・インテリジェンス・バックボーンです。調査会社ガートナー社によると、アリババクラウドは世界の IaaS プロバイダーの上位 3 社に入ります。また、調査会社 IDC によると、アリババクラウドは中国におけるパブリック・クラウドサービスの最大手プロバイダーでもあり、同社のマーケットプレイスを利用する事業者、スタートアップ、企業、公共サービスを含む、世界中の組織に包括的なクラウド・コンピューティング・サービスを提供しています。アリババクラウドは、国際オリンピック委員会 (IOC) の公式クラウドサービス・パートナーでもあります。

【アリババ DAMO アカデミーについて】

2017 年 10 月 11 日に設立されたアリババ DAMO アカデミーは、科学技術の研究とイノベーションを通して未知なるものを探求することに取り組んでいます。本アカデミーでは、人間性の向上を追求することを原動力としています。

【アリババヘルスについて】

アリババヘルスは、アリババグループのダブル H(Health と Happiness、健康と幸福)戦略における重要なヘルスケア・プラットフォームです。e コマース、インターネットファイナンス、ロジスティクス、ビッグデータ、クラウドコンピューティング分野におけるアリババグループの優位性に支えられたアリババヘルスは、医薬品の e コマースと「ニューリテール」、コンシューマーヘルスケア、インターネットヘルスケア、インテリジェントヘルスケアの 4 つの主要なビジネスに焦点を当てています。指先で健康を維持できるようにすることをミッションに掲げ、ビッグデータを通じて医療を促進し、インターネットを利用して医療業界を再編するとともに、公平で、手頃な価格の、利用しやすい医療・保健サービスを 10 億人の人々に提供することを目指しています。詳細については、同社のウェブサイトをご覧ください。

《本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先》

株式会社日本ブレーン

ソリューション企画本部 臨床研究システム担当：小野寺、中村

TEL: 03-3984-7511 MAIL: solution_eigyo@jbc.co.jp

アリババクラウド・ジャパンサービス株式会社

アリババクラウド・ジャパン広報代行：カレント・グローバル 宮本、百瀬、トウ

TEL: 03-5427-7302/7318/7411 MAIL: AlibabaPR@CurrentGlobal.com